

電池の取り替えかた

こんなときは電池交換が必要です

●電池切れマークが点灯

●電源スイッチを押しても何も表示されない

リチウム電池(CR2032) 1個をお買い求めください。

電池寿命について

1日3回で1年間使用できます(連続1万回使用可能)。
付属の電池(本体に装着済み)はモニター用ですので、寿命が短い場合があります。

⚠ 注意

指定以外の電池を使用しない。
故障の原因となります。

電池を重ねて置かない。
発熱、発火の原因となります。
電池を火の中に投げ込まない。

1 電池カバーをはずす

2 古い電池を取りはずす

3 電池を入れる

4 電池カバーを本体にはめる

電池カバーをはずす

つまようじ等を差しながら、電池カバーを手前にずらしてはずす

⚠ 注意

金属製の棒等を使用しない。
故障の原因となります。

古い電池を取りはずす

電池の飛び出しに注意する

電池を入れる

●プラス面を上
●手前から奥へスライドさせるように

⚠ 注意

電池交換の際、電池を上から無理な力で押し込まない。
本体が破損する原因となります。
電池交換の際、プラスとマイナスの向きを間違えない。
故障の原因となります。

電池カバーを本体にはめる

電池交換後は、おやすみモードの設定が元に戻る場合があります(ブザーが鳴るようになります)。必要に応じて設定をやり直してください。
設定のしかたは2ページの「おやすみモード(消音)の設定」をご覧ください。

こんなとき	原因	対処方法
電源スイッチを押しても電源が入らない。	電池が入っていない。又は正しく入っていない。 電池が消耗している。	電池を正しく入れてから電源スイッチを押してください。 電池を交換してください。
検温完了時にブザーが鳴らない。	おやすみモード(消音)に設定されている。	検温完了をブザーと光の両方で知りたい場合、設定を切り替えてください(2ページ)。
「E 2」表示が出る。	体温計の誤作動です。	約2分後、電源を入れ直してから、再度検温してください。
「RL 0」表示が出る。 「RH 1」表示が出る。	体温計本体の温度が低すぎる。 体温計本体の温度が高すぎる。	5～35℃の部屋で30分以上なじませてから、ご使用ください。
「L 0」表示が出る。 「H 1」表示が出る。	検温値が32℃未満である。 検温値が42℃を越えている。	正しい測りかたで再度検温してください。

ご注意
お手入れ方法

⚠ 注意 使用上のご注意

本体、プローブカバーをなめたり、かんだりしない。故障の原因となります。
使用前に外観に破損等がないことを確認し、破損等の異常が認められる場合は使用しない。
破損等による測定値の異常やけがをする可能性があります。
本体を水、消毒用アルコール等の液体につけたり、かけたりしない。
本製品は防水構造ではないため、故障の原因となります。

⚠ 注意 保管上のご注意

日光や紫外線の強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しない。
外装の変色や劣化が発生することがあります。
本製品に液体や異物が入らないように注意する。
内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷による故障の原因となります。
本製品は気密構造でないので、消毒用ガス等の活性ガス環境や多湿環境等で使用、放置しない。
内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷による故障の原因となります。

仕様

販売名	テルモ耳式体温計M30	使用条件	5～35℃、30～85% RH (ただし結露なきこと)	警報機能	1. 電池切れマーク表示 2. 表示温度範囲外表示 3. 使用温度範囲外表示
検温方式	非接触式	保存条件	－10～50℃、30～95% RH (ただし結露なきこと)	電撃保護	内部電源機器・BF形装着部
検温部位	耳内	電源	DC3V リチウム電池(CR2032)1個	外観寸法	長さ105mm×幅32mm×厚さ25mm
表示範囲	32.0～42.0℃	付加機能	1. 検温待ち機能：検温完了後、検温待ち機能であることを表示。2. オートパワーオフ機能：1分以内に操作がない場合、自動的に電源オフ。3. 検温完了をブザーと光で告知。4. おやすみモード機能：検温完了のお知らせを光のみにより切り替え可能。	質量	39g(電池含まず)
温度精度	±0.1℃ 37.0℃以上39.1℃未満 ±0.2℃ 35.8℃以上37.0℃未満 及び39.1℃以上41.1℃未満 ±0.3℃ 32.0℃以上35.8℃未満 及び41.1℃以上42.0℃以下 (黒体炉に対して、使用温度23℃にて)			付属品	リチウム電池CR2032 1個(本体に装着済み)、収納ケース、取扱説明書(品質保証書)/添付文書、プローブカバー(4個(うち1個は、本体に装着済み))
表示方式	液晶表示素子による3桁デジタル表示 (最小表示単位：0.1℃)			別売品	テルモ耳式体温計 交換用プローブカバー(ミミズ取扱店でお買い求めください)

【EMC適合】

本製品は、EMC規格 IEC60601-1-2:1993に適合している。CISPRグループ分類:グループ1 クラス分類:クラスB

管理医療機器 一般名称:耳赤外線体温計
販売名:テルモ耳式体温計M30
医療機器承認番号 21100BZZ00436

①、TERUMO、テルモ、ミミズはテルモ(株)の登録商標です。
©テルモ株式会社 2007年12月 EM_30CPL_J_500_005

品質保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。品質には万全を期しておりますが、通常のご使用において万一故障が発生しましたときは裏面の保証規定により無償修理いたします。品質保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

販売名 テルモ耳式体温計M30

お名前

ご住所

TEL ()

お買い上げ販売店名

お買い上げ年月日 年 月 日

TELモ株式会社 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号

お願い

●体温計や使用済みの電池を廃棄する際は、各自治体のルールに従って適切に廃棄してください。

テルモ耳式体温計 M30 取扱説明書 / 品質保証書 2007年12月改訂

TERUMO

こんなふうに測ります

⚠ 禁忌・禁止

引火性のある環境では使用しない。
引火又は爆発を引き起こす可能性があります。

外耳炎・中耳炎等、耳に病気があるときは使用しない。
無理に挿入すると、症状を悪化させる可能性があります。

1 プローブカバーを確認

●汚れ・破れ等があれば交換
●必ず付けて測る
＊購入時は付いています

簡易ケース入り

予備のプローブカバーが3個付いています。
保管しておきましょう。

2 電源スイッチを押す

電源スイッチ

ウサギマークが完成したら検温可能

⚠ 注意

飲食後、運動後、入浴後、外出から帰宅後はすぐに検温せず、30分ほど待ってから測ってください。

3 しっかり耳に入れる

●耳の奥(鼓膜)の方向へ向けて
●できるだけ深く
＊いつも一定の向き・深さで

4 スタートボタンを、押し続ける

スタートボタン

1秒

ピーツと鳴ってスタートボタンの両脇が光ります。

検温完了

＊おやすみモードのときは、ブザーが鳴りません。

音を消すには

おやすみモードに設定すると、ブザーを消して光だけで検温完了をお知らせします。
設定の方法は、2ページの「おやすみモード(消音)の設定」をご覧ください。

続けて測るときは

ウサギマークが完成するまで数秒待つてから

37.0℃

耳への正しい入れかた

測る前に、耳の穴がどちらに向いているか確かめてみましょう。

耳の穴はまっすぐではありません。
成長につれてS字型に曲がっていきます。

入れ方が浅いと、耳の穴の壁を向いてしまい、正確な検温ができないことがあります。
耳の奥に向けて、できるだけ深く入れて測ってください。

耳の奥に正しく向けるには

耳を後方へ軽く引っ張ると、鼓膜に向きやすくなります。

他の人を測ってあげるとき

寝ている赤ちゃんを測るとき

●耳を上に向けて(顔を横に向ける)
●片手で頭を押さえ、動かないように

耳が小さくて入らないとき

●耳の奥に向けて
●入り口をびったりふさぐように

じっとしていないお子さまを測るとき

●片手を頭の反対側に添え、動かないように

お子さまや大人を測るとき

●耳の奥をしっかりと見てから、できるだけ深く

お子さまを測るときは、ちょっとだけ工夫が必要です。

測定部の長さが短いため、耳の奥まで入れても、お子さまの鼓膜を傷つけてしまうことはありません。

こんな疑問を感じたら、3ページの「検温値に疑問を感じたら」をお読みください

平熱のはずなのに高い？

思ったより低いけど？

4

1

検温後の お手入れと保管

- 1 電源を切る**
切り忘れても、約1分後に自動的に切れます。
 - 2 プローブカバーを軽く拭いて汚れを落とす**
※汚れていると、正しく測れません
 - 3 収納ケースにしまう**
- プローブカバー先端部をウェットティッシュ等、湿ったもので拭く
●プローブカバーがたるむほど強く拭かない
- △ 注意**
必ずプローブカバーを付け、収納ケースに保管する。この状態で保管しないと、故障の原因となります。
プローブカバーがぬれているときは、から拭きして、完全に乾いてから測り直してください。
本体は防水ではありません。汚れがひどい場合は布等を水又はぬるま湯に浸し、よくしぼってから拭き取ってください。

おやすみモード (消音)の設定

- お子様がおやすみのとき等、ブザーを消して、光のみで検温完了をお知らせすることができます(購入時は「ブザーと光」に設定されています)。
- ブザーと光 光のみ
- 1 電源を切る**
電源が入っているときは、設定できません
 - 2 電源スイッチを押し続ける**
現在の設定(ブザーと光)
 - 3 ウサギマークが完成したら、切り替え完了**
おやすみモード(光のみ)
- すでにおやすみモードに設定されている場合、同じ操作でブザーを鳴らすように切り替えることができます。

検温値に疑問を感じたら

からだの状態を判断する前に、次の点をチェックしてみましょう。

検温値が 高い

△ 注意

検温値が 低い

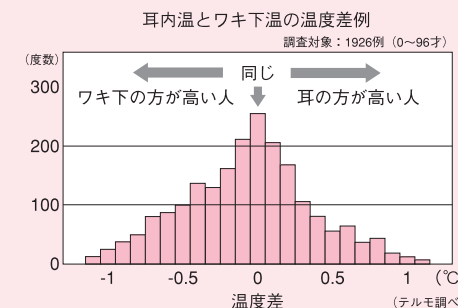
- ★ **プローブカバーをきちんと付けていない**
プローブカバーを付けずに検温したときや、プローブカバーの先端部に破れがあるときは、高くなる場合があります。
- ★ **ミミビを保管していた部屋が寒い**
寒い部屋に保管していた場合は、そのまま測ると検温値が高くなる場合があります。30分ほど室温になじませてから測ってください。また、普段から実際にお使いになる部屋に保管しておきましょう。
- ★ **暖房機のそばで測った**
暖房機などの温風が直接耳にあたるところで測ると、高めになる場合があります。少し離れた場所で測り直してください。
- ★ **長く耳に入れていた**
長く耳に入れて測定部があたたまっている場合は、そのまま測ると、検温値が高くなる場合があります。2〜3分程度待ってから測り直してください。
- ★ **今まで平熱を正しく測っていなかった**
実測式の体温計でワキ下を測る場合、正しくは10分以上必要とされています(口中は5分以上)。10分以下だと、検温値が低くなる場合があります。

- ★ **耳への入れ方が浅い**
奥までしっかり入れてから、測り直してください。耳への入れ方のコツは、1ページをご覧ください。
- ★ **検温完了前に、耳からはなしてしまう**
完了前に抜いたり、動かしたりすると検温値が低くなる原因となります。検温完了ブザーが鳴動、又は検温完了ランプが点灯するまで動かさないでください(検温完了はブザーと光でお知らせします。おやすみモードのときはブザーが鳴りません)。
- ★ **プローブカバーが2枚以上付いている、汚れやシワがある**
プローブカバーはお買い上げ時に取り付け済みです。2枚以上重ねて取り付けないようにご注意ください。また、プローブカバーに汚れやシワがあるときは交換してください。測定値が低くなる場合があります。
- ★ **プローブカバーがぬれている**
から拭きして、完全に乾いてから測り直してください。
- ★ **耳が冷えている(水枕を耳に当てていた場合など)**
30分ほど待って、耳の冷えが取れてから測り直してください。
- ★ **耳の中が汚れている**
綿棒などで清掃してから測り直してください。

ミミビ
Q&A

Q ワキ下と耳で温度が違うの？

A 右図のように、耳とワキ下で温度差がある人もいます。(同じくらいの人、ワキ下が高い人、耳の中が高い人とまちまちです。個人差により、耳とワキ下の体温が約1℃異なる場合があります。)



体温は時間帯、気温、睡眠、感情などの要因で常に変動しているの
で、耳での平熱をあらかじめ検温
しておいてください。

検温値が ばらつく

- ★ **いつも一定の向き・深さで耳に入れていない**
耳の中は場所によって温度が異なります。いつも一定の向き・深さで入れるようにしてください。

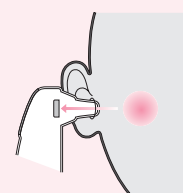
- ★ **プローブカバーに汚れやシワ、破れがある**
温度を正しく検出できません。汚れを拭き取るか、プローブカバーを交換してください。
- ★ **違う側の耳で測った**
耳の形状は左右で微妙に異なるため、人によっては左右で検温値が異なります。いつも同じ側の耳で測るようにしてください。

ミミビ
Q&A

知っておきたい「耳の検温」のハナシ

Q なぜ、耳で測れるの？

A 体の表面からは温度に応じて赤外線が出ていますので、これをキャッチして体温を測ることができます。耳の中で測るのは、鼓膜付近で体温を安定して検出できるためです。



Q なぜ、1秒で測れるの？

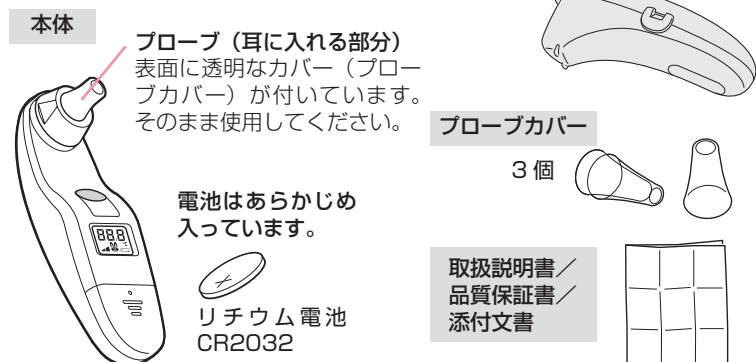
A ミミビには高性能センサーが内蔵されています。このセンサーが耳の中の赤外線を検出して瞬時に温度を測っているのです。

Q なぜプローブカバーは必要なの？

A いつも清潔な状態を保つとともに、内蔵のセンサーをゴミや傷から守るためです。必ず付けて使用してください(付けしないと検温値異常の原因となります)。

製品をご確認ください

揃っていない場合は「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。



△ 総/糺

性能を超えたり不適切に使うと、死亡又は重傷を負う可能性があります。

△ 警告

誤って使うと、死亡又は重傷を負う可能性があります。

△ 注意

安全上のご注意

使用の前に、添付文書及び本取扱説明書をよく読み、正しく使用する。また、品質保証書もついているので、大切に保管する。

電池、プローブカバー、本体、キャップ及び収納ケースは、幼児の手の届かない所に置く。

誤飲やけがをする可能性があります。

△ 注意

測定結果の自己診断、治療は行わない。自己診断、治療は危険です。

人の体温測定以外に使用しない。けがや検温値の異常や故障の原因となります。

耳内検温以外の目的には使用しない。けがや検温値の異常や故障の原因となります。

＜切り取り線＞

保証規定

- 保証期間は、お買い上げ後1年です。
- ご使用中、故障が発生した場合はテルモ・コールセンターへ本証を切り取り現品にそえて、修理をご依頼ください。なお、保証期間を過ぎている場合は、テルモ・コールセンターへの送料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。
- 保証期間中に、通常のご使用において万一故障が発生したときは無償修理いたします。
- ただし、下記の場合は保証期間中でも有償になります。
イ、ご使用上で取り扱いの過誤により発生した故障。
ロ、製品の改造、不当な修理により発生した故障。
ハ、火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障及び損傷。
ニ、故障の原因が本製品以外に起因する場合。
ホ、消耗部品。
ヘ、上記以外で弊社の責に帰することのできない原因により発生した故障。
ト、品質保証書のご提示がない場合。
チ、品質保証書にお買い上げ日、販売店名の記載がない場合、また、字句を書き換えられた場合。
(5) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

修理受付先：テルモ・コールセンター 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目44番1号 TEL 0120-00-8178

テルモ・コールセンター (ヘルスケア専用)

フリーダイヤル ☎ 0120-00-8178

9:00 ~ 17:00

ただし土・日・祝日を除く

ご相談やお問い合わせは、
上記の「テルモ・コールセンター」にご連絡ください。
この製品は「テルモ耳式体温計 M30 ミミビ ヒカリ」です。

テルモホームページアドレス
<http://www.terumo.co.jp/>